

用語集

あ行

■アミロイドβ

タンパク質の一種。脳に蓄積される老廃物で、蓄積量が増えると脳の神経細胞にダメージを与える。

■遺伝子診断パネル

診療上重要な複数の遺伝子の変異、増幅や融合を同時に解析することができるアッセイのこと。

■イメージングフローサイトメトリー

フローサイトメトリー(FCM)は、微細な粒子を流体中に分散させ、その流体を細く流して個々の粒子を光学的に分析する手法のことで、主に細胞を個々に観察する際に用いられる。イメージング FCM は、大量の細胞を処理できる FCM と、細胞形態・蛍光画像の高速撮像およびそれら画像を自動分析する能力を兼ね備えたミリポア社独自の技術。

■HDL 機能

HDL は高比重リポタンパク(high density lipoprotein)の略で、HDL コレステロールは善玉コレステロールとよばれる。HDL 機能とは、過剰コレステロールを排除する能力。

■エマルジョン PCR

PCR 法の一つで、オイル中に存在する各水滴内に断片化した 1 分子の 1 本鎖 DNA と 1 個のビーズが含む状態で PCR 反応を行うことにより、ビーズ上に鋳型 DNA を増幅する方法。

か行

■確定診断

医師が問診や臨床検査の結果から、総合的に推定された疾患の確認と程度を判定すること。

■感受性

患者さんに対する薬剤の効き具合。同じ薬剤でも人によって効果、効能が異なる。

■感染症(*)

病原微生物が種々の経路により生体に侵入して増殖し、または毒素を出して起こす病気。

■クリニカルシーケンス

疾患の診断や治療法選択などのために、次世代シーケンサーを用いて患者さんの遺伝子情報を高精度に調べること。

■ゲノム

ある生物種のもつ遺伝情報の最小量のこと。生物形成の設計図にあたるのが、遺伝子であり、1 個の生物を作るのに必要な最小限の遺伝子のセットをゲノムという。

■検体 (*)

検査に必要な材料。血液・髄液・膿・尿・大便など。検査材料。

■個別化医療

患者一人ひとりの個性にかなった医療のこと。

■コンパニオン診断

医薬品の効果や副作用を投薬前に予測するために行われる臨床検査のこと。

さ行

■再生医療

機能障害や機能不全に陥った生体組織・臓器に対して、細胞を積極的に利用して、その機能の再生をはかる。

■先駆け審査指定制度

一定の要件を満たす画期的な新薬等について、薬事承認に係る相談・審査における優先的な取扱いの対象とするための制度。

■次世代シーケンサー

遺伝情報を持つ DNA の塩基および、この配列を、同時並行で大量に読み取る解析装置。

■試薬

検体検査に用いられる医療用医薬品のことで、体外診断用医薬品ともいわれる。人体に直接使用されるものではなく、体外に取り出された血液や体液に使用される。

■腫瘍マーカー(*)

腫瘍細胞で特異的に産生され、尿や血液中で検出される物質。その定量や検出が、がんの診断の補助や臨床経過の判定に利用される。

■スクリーニング検査

スクリーニングとは、異常と正常をふるいわけること、検体検査においては、精密な検査が必要なものと必要の無いものをふるいわけを目的に実施される。

■生体検査

レントゲンや心電図、脳波など体を直接調べる検査。

た行

■タウ蛋白

タンパク質の一種。脳に蓄積し、神経原線維変化を引き起こす要因といわれている。

■デジタル PCR 技術

非常に高感度な遺伝子検出技術のひとつであり、血液中に放出された微量がん遺伝子変異の検出等への応用が期待されている。

な行

■尿検査

尿中の糖・蛋白質・血液の有無を調べ、尿路系結石の有無、腎臓の機能や糖尿病罹患の有無を調べる検査。

は行

■バイオインフォマティクス

遺伝子やタンパクの情報を解析し、生命現象を解明するための情報技術。ここでは、遺伝子情報と病気の関係を解析する技術を意味している。

■B/F 分離

B は Bond、F は Free の略。抗体と結合している抗原と、抗体と結合していない抗原を分離すること。

■BNA Clamp PCR

BNA は人工的に作られた DNA と類似の構造を持つ化合物で、相補的な核酸と強く結合し、安定な二重

鎖を形成する。このような BNA の性質を利用し、BNA クランプを用いて不必要な遺伝子の増幅を阻害する。変異検出において、通常の PCR では、変異のない遺伝子によるバックグラウンドノイズが要因となり感度を下げるが、BNA クランプ PCR では、変異のある遺伝子だけを選択的に増幅できるため、バックグラウンドノイズが抑えられ、高感度に検出することが可能となる。

■BEAMing 技術

Bead, Emulsion, Amplification, and Magnetics の各頭文字を省略したもので、Digital PCR(高感度 PCR) 技術とフローサイトメトリー技術を融合させた遺伝子解析手法。これにより、血中の微量遺伝子変異を検出することができる。

■PCR

少量 DNA を大量に複製する、遺伝子増幅技術の一つ。

■FISH 検査

特定の遺伝子にだけ結合する蛍光物質を使って染色体の中にある目的の遺伝子を検出する方法。

■プライマリケア

患者さんの抱える問題の大部分に対処でき、かつ継続的なパートナーシップを築き、家族及び地域という枠組みの中で責任を持って診療する臨床医によって提供される、総合性と受診のしやすさを特徴とするヘルスケアサービス

■プラズマシーケンス技術

DNA1分子ごとに標識を付加して各遺伝子を識別して増幅することにより、標的 DNA 分子を特異的かつ高感度に遺伝子配列解析する技術。一般の次世代遺伝子配列解析よりもエラー率が低いことが特長で、リキッドバイオプシー検体の高感度マルチ遺伝子検査に有用。

■フローサイトメトリー(FCM)

微細な粒子を流体中に分散させ、その流体を細く流して、個々の粒子を光学的に分析する手法のこと。主に細胞を個々に計測する際に用いられる。

■フローFISH システム

細胞内の特定の遺伝子異常を検知するため、溶液中で細胞を FISH 試薬と反応させ核染色し、MI-FCM で撮像し解析するシステム。

■ヘルスケアテストイング(事業領域)

病院の検査室での検査や POC 検査に、在宅で行う検査や予防のための検査を含めたヘルスケア全体における検査を総称した言葉。

■ポストゲノム

遺伝子の中から役立つものを探しだしてその機能を明確にし、さらに個人差を生む原因となる塩基配列の違いを解明すること。ポストゲノム研究が進むことで、個人の塩基配列の違いによる「テーラーメイド治療」など、医療技術の進歩が期待できる。

ま行

■免疫血清検査

肝炎ウィルスの有無やがんなどに特異的に出現するタンパク質の有無を調べる検査。

■免疫チェックポイント阻害剤

がん細胞は免疫のはたらきにブレーキをかけて、免疫細胞の攻撃を阻止するが、そのブレーキ部分が免疫チェックポイントと呼ばれる。免疫チェックポイント阻害剤は、そのブレーキ活動を阻止し、がん細胞に対する免疫細胞の働きを活性化させるもの。

■モジュラーコンセプト

個々の製品を組み合わせることで、多様な製品を生み出すことが可能。また、検体数に合わせ自由自在に増やすことも減らすこともでき、お客様の要望に合わせた提案が可能。

や行

ら行

■RAS 遺伝子

RAS 遺伝子の変異するとがんを引き起こすことが知られている遺伝子。

■リキッドバイオプシー

血液や体液から、がんなどの疾病の検査を行うこと。従来のバイオプシー(生検)に比して、低侵襲性で検査を行うことができる。

■リスク診断

自分が将来どのような病気にかかる可能性があるのかを調べる検査。

わ行

《参考資料》

・三省堂「オンライン版大辞林」

大辞林より引用した語については、見出し語の横に(*)を表示しております。